

学生便覧 2023年度
B2023-9-1

看護学部

看護学科

履修の手引と手続き

<小目>

I	ディプロマ・ポリシー	2
II	カリキュラム・ポリシー	2
III	授業科目について	3
IV	授業科目の単位と認定	3
V	卒業に必要な単位について	3
VI	看護師国家試験受験資格について	3
VII	進級基準	4
VIII	授業科目の学年配当と履修すべき単位数	5
	1. 全学部共通基盤科目群	5
	2. グローバルリテラシー科目群	9
	3. 看護基盤科目群	9
	4. キャリア形成科目群	9
	5. 専門基礎科目群	10
	6. 専門科目群	11
	7. 自由科目群	13

履修の手引と手続き

I ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

看護学部 看護学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（看護学）の学位を授与します。

1. 看護について基盤となる知識を身に付け、活用することができる。
2. グローバルな視点で、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解するために教養と寛容さを身に付け、行動することができる。
3. 安心・安全・安楽な看護技術を身に付け、実践することができる。
4. 看護専門職として必要なコミュニケーション能力を身につけ、活用することができる。
5. あらゆる場でチームの一員として、連携・協働し、看護を実践することができる。
6. 地域で暮らす人々の健康を支援するための情報を収集・分析・統合することができる。
7. 看護に必要な倫理観、人の生命や人としての尊厳と権利を尊重する態度を身につけ、行動することができる。
8. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向け、人々の健康問題解決に向けて考え行動することができる。
9. 看護専門職として生涯にわたり研鑽し続けることができる。

II カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

看護学部 看護学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、国際的視野をもって常に変化する社会情勢や多様な対象のニーズに対応できる知識・技能を身に付け、地域に貢献できる看護職者を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

- ◇ 看護学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
- ◇ グローバル化による社会のニーズに応え、多様な対象を理解し尊重するためのグローバルリテラシー科目群を設置する。
- ◇ 看護の対象である人および人をとりまく環境や新しい技術への理解を深めるための看護基盤科目群を設置する。
- ◇ 専門職の役割を考えながら能動的に学修し、キャリア形成の基盤を身に付けるため、キャリア形成科目群を設置する。
- ◇ 専門職の基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、保健、医療、福祉の知識・技能、連携について学ぶ専門基礎科目群Ⅰ、専門基礎科目群Ⅱを設置する。
- ◇ 看護学の基本、ライフステージ、健康レベル、生活の場の違いに対応した看護実践力を身に付けるため、専門科目群Ⅰ、専門科目群Ⅱ、専門科目群Ⅲを、多様化、複雑化した状況下にある看護並びに看護職者の倫理や役割の理解を深めるため専門科目群Ⅳを設置する。
- ◇ 専門的な国家試験受験資格、免許を取得するため、保健師課程、助産師課程、教職課程に必要な科目からなる自由科目群を設置する。
- ◇ アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

Ⅲ 授業科目について

看護学部看護学科における授業科目は、全学部共通基盤科目群、グローバルリテラシー科目群、看護基盤科目群、キャリア形成科目群、専門基礎科目群Ⅰ・Ⅱ、専門科目群Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び自由科目群から構成されている。

Ⅳ 授業科目の単位と認定

本学部では単位制を採用している。単位制とは、ひとつひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修した授業科目に対して、試験もしくはその他の方法により学習評価をしたうえで、その単位を認定する制度である。

単位の認定は、S・A・B・Cの4段階の評価により行いFの評価は単位を認定しないものとする。なお、N・Hは、単位振替により単位を認定したことを示す。

Ⅴ 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位は、以下の表に示すとおりである。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には含めない。

科目群等	学 科	看護学科
		単位数
全学部共通基盤科目群		9
グローバルリテラシー科目群		3
看護基盤科目群		2
キャリア形成科目群		2
専門基礎科目群Ⅰ		7
専門基礎科目群Ⅱ		21
専門科目群Ⅰ（基礎看護学）		15
専門科目群Ⅱ（専門看護学）		37
専門科目群Ⅲ（広域看護学）		14
専門科目群Ⅳ（統合看護学）		7
指定された各科目群より修得した科目以外に、全学部共通基盤科目群より選択必修		3
指定された各科目群より修得した科目以外に、専門基礎科目群Ⅰ・同Ⅱより選択必修		4
指定された各科目群より修得した科目以外に、専門科目群Ⅲ・同Ⅳより選択必修		2
計		126

Ⅵ 看護師国家試験受験資格について

本学部は、文部科学省令・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、文部科学大臣の指定した 学校教育法に基づく大学として認可を受けている。本学部の所定の単位を修得し、卒業することにより、 看護師国家試験受験資格を得る。

Ⅶ 進級基準等

1. 進級基準

各年次への進級にあたっては、以下の表に示す必修科目（グローバルリテラシー科目群、看護基盤科目群、キャリア形成科目群、専門基礎科目群Ⅰ・Ⅱ、及び専門科目群Ⅰ～Ⅳ）の単位を修得しなければならない。

未修得必修科目数が2科目以下の場合には進級を認めることがある。ただし、2年次から3年次への進級にあたって「基礎看護学実習B」の単位が未修得である場合は、未修得必修科目数にかかわらず進級を認めない。

なお、未修得必修科目数とは、1年次から在籍年次までの開講科目における未修得必修科目数を加算したものをいう。

1年→2年		2年→3年		3年→4年	
科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
世界の中の日本	1	プロジェクト教育 B	1	保健医療統計学	2
人間関係論	2	ライフステージ IPE A	1	クリティカルケア方法論演習	1
看護情報学	1	ライフステージ IPE B	1	クリティカルケア実習	3
科学基礎	1	疾病治療学 A	2	慢性疾患看護方法論演習	1
プロジェクト教育 A	1	疾病治療学 B	2	慢性疾患看護実習	3
社会福祉原論	2	周産期医学 A	1	老年看護方法論演習	1
人体の構造機能 A	2	感染症学	1	老年看護学実習	2
人体の構造機能 B	2	臨床薬理学	2	母性看護方法論演習	1
臨床栄養学	2	薬学系演習	1	母性看護学実習	2
疫学	2	臨床薬物動態論	1	小児看護方法論演習	1
病原微生物学	2	看護方法論 A	2	小児看護学実習	2
臨床生化学	1	看護方法論 B	1	精神看護方法論演習	1
看護学概論	1	看護方法論演習 C	2	精神看護学実習	2
看護方法論演習 A	1	看護方法論演習 D	1	地域・在宅看護方法論演習	1
看護方法論演習 B	2	基礎看護学実習 B	2	地域・在宅看護実習	2
基礎看護学実習 A	1	クリティカルケア方法論	2	地域包括ケア実習	1
サービスラーニング	1	慢性疾患看護方法論	2	感染看護	1
成人・老年看護学概論	2	老年看護方法論	2	終末期看護論	2
精神看護学概論	1	母子看護学概論	2	医療倫理学	2
地域・在宅看護概論	1	母性看護方法論	2	看護研究方法論	1
グローバルヘルス A	1	小児看護方法論	2		
		精神看護方法論	2		
		地域・在宅看護方法論	2		
		公衆衛生看護学概論	2		
<科目数 21 科目>		<科目数 24 科目>		<科目数 20 科目>	
合計	30	合計	39	合計	32

2. 履修登録上限

各年次における履修登録の上限は、1年次 49 単位、2年次 49 単位、3年次 42 単位、4年次 42 単位までとする。ただし、大学が教育上適当と認める場合は、履修上限単位数を超えて履修することを認めることがある。

Ⅶ 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

1. 全学部共通基盤科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	アカデミック・スキルズ	①				12 単位	必修科目 7 単位及び「中国語 I」又は「韓国語 I」のいずれか 2 単位*に加え、全学部共通基盤科目群より 3 単位以上を選択し、修得すること。 I 及び II に区分されている各科目において II の科目を履修するためには、あらかじめ同一科目の I を修得しなければならない。
	SDGs × 大学生	1					
	Fundamentals of English I	②					
	Fundamentals of English II	2					
	Oral Fluency I	②					
	Oral Fluency II	2					
	TOEIC Preparation A	2					
	TOEIC Preparation B	2					
	TOEIC Preparation C	2					
	TOEIC Preparation D	2					
	English for Specific Purposes A	2					
	English for Specific Purposes B	2					
	English for Advanced Studies A	2					
	English for Advanced Studies B	2					
	中国語 I		2				
	中国語 II		2				
	韓国語 I		2				
	韓国語 II		2				
	スペイン語 I	2					
	スペイン語 II	2					
	ドイツ語 I	2					
	ドイツ語 II	2					
	フランス語 I	2					
	フランス語 II	2					
	ハンガリー語 I	2					
	ハンガリー語 II	2					
ポーランド語 I	2						
ポーランド語 II	2						
チェコ語 I	2						
チェコ語 II	2						

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系 列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
全 学 部 共 通 基 盤 科 目 群	現 象 世 界 を つ か む	データ分析の基礎(解析)	2				
		データ分析の基礎(線形代数)	2				
		自然科学概論	2				
		生命現象の理解とその応用 ー生命科学	2				
		環境科学	2				
		食環境論	2				
		香りと環境	2				
		情報セキュリティ A	2				
		情報社会と情報倫理	2				
		人工知能論	2				
		データサイエンス I	2				
		データサイエンス II	2				
		統計学	2				
		身体の理解	2				
		デジタルアプリ A	②				
		デジタルアプリ B	2				
		生物からみた環境の仕組み・生態学	2				
	インターネット配信	2					
	現 代 社 会 の 課 題 に 挑 戦 す る	エリアスタディーズ A	2				
		エリアスタディーズ B	2				
		観光の現在と未来	2				
		ヘルスツーリズム	2				
		社会心理学	2				
		生活と文化		2			
		生涯スポーツ概論	2				
		スポーツ社会学	2				
		ボランティア論	2				
		国際日本学	2				
		コミュニケーションの基礎	2				
		域学共創プロジェクト A	2				
		域学共創プロジェクト B	2				
		域学共創プロジェクト C	2				
		域学共創プロジェクト D	2				
		域学共創プロジェクト E	2				
域学共創プロジェクト F		2					
域学共創プロジェクト G	2						
域学共創プロジェクト H	2						
域学共創プロジェクト I	2						
域学共創プロジェクト J	2						

* 単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
全学部共通基盤科目群	歴史をひもとく	史学概論	2				
		日本の歴史 A	2				
		日本の歴史 B	2				
		西洋史概論	2				
		アジア史概論	2				
		現代史入門	2				
		人類とモノづくり	2				
		房総の文化と歴史	2				
		科学史	2				
		映像メディア史	2				
		音楽史	2				
	社会の構造的変動をとらえる	政治学入門	2				
		国際関係論		2			
		経済学入門	2				
		経済原論 A	2				
		経済原論 B	2				
		社会と経営	2				
		社会と会計	2				
		マーケティング論	2				
		広告戦略論	2				
		社会学	2				
		社会調査		2			
		法律学概論	2				
		日本国憲法	2				
		民法 A		2			
		商法		2			
		著作権	2				
		社会福祉学 A	2				
		社会福祉学 B		2			
	経営情報基礎論 A	2					
	世界を創造する	地理学 A	2				
		地理学 B	2				
		世界遺産のいま	2				
西洋美術		2					
美学・芸術学		2					
表象文化研究	2						

* 単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系 列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
全 学 部 共 通 基 盤 科 目 群	世 界 を 創 造 す る	日本の現代文化	2				
		日本の伝統文化	2				
		日本文学概論	2				
		日本の文学(古典)		2			
		日本の文学(近・現代)		2			
		日本語表現	2				
		文学のはじまり-古代ギリシア・ローマの文学	2				
		世界の文学	2				
		演劇研究	2				
	古典芸能研究	2					
	知 の 知 を 追 究 す る	教育学	2				
		心理学	2				
		基礎の数学	2				
		ジェンダー論	2				
		根拠への問い-哲学へのとびら	2				
		宗教学概論	2				
		倫理学概論	2				
		文化人類学	2				
		異文化適応論	2				
		比較文化概論	2				
	言語学概論	2					
	心 と 身 体 の 充 実 を は か る	スポーツ科学 A	1				
		スポーツ科学 B	1				
		スポーツ科学(ダンス)IA	1				
		スポーツ科学(ダンス)IB	1				
しゃべりのスキル Up I		2					

2. グローバルリテラシー科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
グローバルリテラシー科目群	医療英語				2	3単位	
	世界の中の日本	①					
	人間関係論	②					

3. 看護基盤科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
看護基盤科目群	看護情報学	①				2単位	
	科学基礎	①					

4. キャリア形成科目群

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
キャリア形成科目群	プロジェクト教育 A	①				2単位	
	プロジェクト教育 B		①				
	未来講座-これからの看護				1		

5. 専門基礎科目群

* 単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目群 I	死生学				2	7 単位	必修科目に加え、専門基礎科目群 I 及び専門基礎科目群 II の選択科目の中から 4 単位以上を選択し、修得すること。
	社会福祉原論	②					
	児童福祉論	1					
	高齢者福祉論		1				
	保健医療福祉行政論		2				
	ライフステージ IPE A		①				
	ライフステージ IPE B		①				
	ライフステージ IPE C			1			
	関係法規				①		
	保健医療統計学			②			
	地域母子保健 A			1			
	学校保健			2			
	家族発達支援論		1				
専門基礎科目群 II	医学概論	1				21 単位	
	人体の構造機能 A	②					
	人体の構造機能 B	②					
	疾病治療学 A		②				
	疾病治療学 B		②				
	臨床栄養学	②					
	疫学	②					
	病原微生物学	②					
	臨床生化学	①					
	臨床心理学	1					
	臨床免疫学	2					
	周産期医学 A		①				
	周産期医学 B		1				
	医用工学概論	2					
	感染症学		①				
	臨床薬理学		②				
	薬学系演習		①				
	臨床薬物動態論		①				
	ゲノム医療				2		
	薬物療法管理論				2		
東洋医学概論				1			

6. 専門科目群

* 単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得 単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年		
専門科目群 I (基礎看護学)	看護学概論	①				15 単位	
	看護方法論 A		②				
	看護方法論 B		①				
	看護方法論演習 A	①					
	看護方法論演習 B	②					
	看護方法論演習 C		②				
	看護方法論演習 D		①				
	看護管理				①		
	基礎看護学実習 A	①					
	基礎看護学実習 B		②				
	サービスラーニング	①					
専門科目群 II (専門看護学)	成人・老年看護学概論	②				37 単位	
	クリティカルケア方法論		②				
	クリティカルケア方法論演習			①			
	クリティカルケア実習			③			
	慢性疾患看護方法論		②				
	慢性疾患看護方法論演習			①			
	慢性疾患看護実習			③			
	老年看護方法論		②				
	老年看護方法論演習			①			
	老年看護学実習			②			
	母子看護学概論		②				
	母性看護方法論		②				
	母性看護方法論演習			①			
	母性看護学実習			②			
	小児看護方法論		②				
	小児看護方法論演習			①			
	小児看護学実習			②			
	精神看護学概論	①					
	精神看護方法論		②				
	精神看護方法論演習			①			
精神看護学実習			②				

*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考	
		1年	2年	3年	4年			
専門科目群Ⅲ (広域看護学)	地域・在宅看護概論	①				14 単位	必修科目及び選択必修科目に加え、専門科目群Ⅲ及び専門科目群Ⅳの選択科目の中から2単位以上を選択し、修得すること。	
	地域・在宅看護方法論		②					
	地域・在宅看護方法論演習			①				
	公衆衛生看護学概論		②					
	地域・在宅看護実習			②				
	地域包括ケア実習			①				
	グローバルヘルス A	①						
	グローバルヘルス B		1					
	国際看護				1			
	フォレンジック看護				1			
	災害看護				①			
	災害看護演習				1			
	感染看護			①				
	終末期看護論			②				
専門科目群Ⅳ (統合看護学)	医療倫理学			②		7 単位	選択必修科目として「フィールド教育」又は「地域母子保健実習 A」から1単位*を選択し、修得すること。	
	看護研究方法論			①				
	総合看護学演習 A				①			
	総合看護学演習 B				①			
	卒業論文				2			
	フィールド教育				1			*いずれか1科目
	地域母子保健実習 A				1			
	インターンシップ				1			**3科目のいずれか1科目
	ライフステージ IPE D				1			
	地域母子保健実習 B				1			

7. 自由科目群

* 単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数				最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年		
自由科目群 (保健師課程)	健康支援と健康教育		2				
	地域診断と地域活動			2			
	公衆衛生看護活動論		2				
	公衆衛生看護活動論演習 A			1			
	公衆衛生看護活動論演習 B				2		
	健康政策論				1		
	公衆衛生看護学実習				3		
自由科目群 (助産師課程)	助産学概論			1			
	周産期医学 C			2			
	助産診断・技術学 A				1		
	助産診断・技術学 B				3		
	助産診断・技術学 C			1			
	助産診断・技術学 D				1		
	助産診断・技術学 E				1		
	助産診断・技術学 F				1		
	ウィメンズヘルス支援論			2			
	助産管理				1		
	地域母子保健 B				1		
	助産学実習 A				1		
	助産学実習 B				8		
	周産期の家族支援			1			
自由科目群 (教職課程)	養護概説			2			
	教職論	2					
	教育原理		2				
	教育心理学		2				
	特別のニーズ教育論			2			
	教育課程論	2					
	教育制度		2				
	道徳教育の理論と方法	2					
	教育方法論	2					
	特別活動と総合的な学習の時間		2				
	生徒指導	2					
	教育相談 (カウンセリングを含む)		2				
	養護実習 (事前及び事後指導を含む)				5		
	教職実践演習 (養護)				2		